

団体名	むさしのスマイル
連絡先	E-mail musashino.smile@gmail.com TEL/FAX 03-3920-2512(松尾)
活動範囲	東京都市部 主に武蔵野市でのサロン活動
結成の経緯と時期	<p>震災後、妊娠 3 ヶ月だった岡田さんは、「とにかく子ども達の安全を守りたい」との一心から 3 歳と 1 歳の子どもを抱えて外国人の夫が単身赴任する東京へ避難した。ところが、夫がすぐに母国に一時帰国することになり、新たな住まいを探すことになる。</p> <p>自主避難者へは情報がまったく入らず、インターネットで必死に探し、武蔵野市の都営団地に入居することができた。しかし、入居はできたものの慣れない土地で、二人の小さな子どもを抱えての生活は、身重の身体で外出することさえ簡単なことではなかったという。そんなとき、東京都助産師会が実施する避難した妊婦への支援プロジェクトのことを知り、連絡を取った。</p> <p>一方、支援者の松尾さんは、同じく東京都助産師会の支援プログラムに自宅の空き部屋を一時避難のホームステイ先として使ってもらいたいと申し出をしていた。そして、もともとママ友だった伊東さんにも声をかけ、一緒に支援をすることになる。</p> <p>避難者と支援者という関係ではなく、子育て中のママ同士の助け合いから始まった支援というより家族ぐるみのお付き合いが、岡田さんの出産後 1 年して団体として産声をあげた。今では、母子支援という枠にとらわれず、誰でもが気軽に集まって話ができる会として活動している。</p> <p>2012 年 9 月 1 日設立</p>
主な活動	<p>◇よらんしょサロン 武蔵野市緑町2-6都営第3アパート9号棟シルバーピア団らん室にて毎月のサロンを開催。事前に連絡をいただければ、誰でも参加可能。このサロンでは、お茶飲みはもちろんのこと、情報共有の場、相談の場として利用されていて、近隣市のママたちも集まっています。</p> <p>◇「あつまろう！話そう！避難者&amp;支援者atむさしの」の開催 2013年11月3日に、近隣市の自助グループや社協の方々と共に交流会を実施。</p>
連携団体について	<p>◇定期的な活動である「よらんしょサロン」は、地域の方々(武蔵野都営アパート)や武蔵野市民社協の方々や連携して活動しています。場合によっては、近隣市の自助グループの方々や社協さん、NPO法人こどもプロジェクト等の方々とも情報交換しながら活動しています。</p> <p>◇上記「あつまろう！話そう！～」のイベントは、東久留米住宅ふれあいの会、東京YWCA武蔵野センター福福カフェ、武蔵野まごころ連、北多摩北部ブロック内避難者家族支援担当者連絡会(武蔵野市、小平市、西東京市、東村山市、東久留米市、清瀬市の各社協)、Cafe黒丸屋、地域のボランティアの皆さん、むさしの福島ともだちプロジェクト、NPO法人こどもプロジェクト、福島乳幼児妊産婦ニーズ対応プロジェクト、東京都生協連等と連携して取り組みを実施しています。</p>
備考	<p>◇当初 1 年は主に避難されている子育て中の母子、父子を対象としたつどいを開催していましたが、現在は年代問わず、高齢の方から、子どもたちまでみんなの交流を大切にして活動しています</p> <p>◇11月3日に開催するイベントでは、初めて近隣市の避難者の方々と集まって話をする機会を設けました。武蔵野市内だけではなく、もう少し広域な形での交流会を開催することで、幅広いつながり作り、情報交換の場づくりを目指しています。</p>
公開の可否	可

